

令和7年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

当初予算説明資料

— 目 次 —

1 予算編成方針	1
2 予算の施策方針と主な事業の概要	2
3 事業計画	6
4 収益的収入及び支出	6
5 資本的収入及び支出	6
6 債務負担行為	6
7 企業債	6
8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表	7
9 第2次水道施設整備計画位置図	9

## 1 予算編成方針

我が国は、この30年余の間、バブル崩壊に伴う混乱やデフレ、世界的な金融危機、度重なる自然災害、コロナ禍といった幾多の難局に直面しましたが、これらを乗り越えてきました。現在、我が国経済は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、賃上げと投資が牽引する成長型経済に移行できるかどうかの分岐点にあると、政府が令和6年12月に閣議決定した「令和7年度予算編成の基本方針」の中で述べられています。

このような情勢において、政府は「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を策定し、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済を実現し、新たな経済ステージへの移行を確実にすることとしています。また、国土交通省は、能登半島地震の被害や人口減少等を踏まえ「強靱で持続可能な上下水道システムの構築」に向けて、「上下水道施設の耐震化と災害時の代替性・多様性の確保」、「最適で持続可能な上下水道への再構築」を上下水道一体で推進することとしています。

本企業団に目を向けますと、給水人口の減少期を迎えることや水需要の低迷に伴う料金収入の減少に加え、資材及び人件費を含む物価高騰等の影響が大きく、費用の削減だけでは事業運営が厳しい状況となりました。そのため、投資規模や企業債借入額を見直し、水道料金の改定を実施することにより、経営の安定性を確保することとしました。

こうしたなか、第3次アクア・シンフォニー計画の基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて、安心安全な水道水を安定的に供給するため、大規模災害時に対応できるような内部留保資金の確保や企業債残高に留意しながら、第2次水道施設整備計画を始めとした各種事業を実施していきます。

令和7年度の予算編成にあたっては、水道使用者の理解が得られるよう引き続き各種事業における重要度、緊急度及び効果性を勘案し、優先すべき事業に予算を重点的かつ効率的に配分することを考慮し、編成しました。

## 2 予算の施策方針と主な事業の概要

★★水道事業ビジョン★★  
第3次アクア・シンフォニー計画  
(令和3年度～令和12年度)

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

### 計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

#### I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、水質検査の正確性や分析技術の向上を図ります。

・適正な水質管理 … 1,902万円

(一部農薬項目等の水質検査業務委託他)

・水質検査精度管理 … 2,707万円

(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)

・水安全計画の検証

(水安全計画のレビュー)

2. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続します。

・施設警備委託 … 259万円

(水道施設警備業務委託)

# 計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

## I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新します。

- ・老朽管路の更新 … 19億2,183万円

(東郷町和合ヶ丘他地内配水管布設替工事 始め22件 L=13,801m)

2. 災害時に備えるため、基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行います。

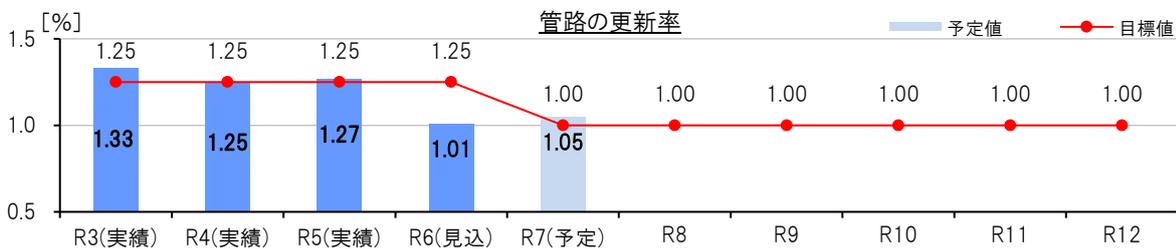
- ・基幹管路の耐震化 … 2億2,762万円

(鉛ヶ松高嶺線送水管布設替工事その1 始め2件 L=914m、基幹管路耐震化に伴う設計委託1件)

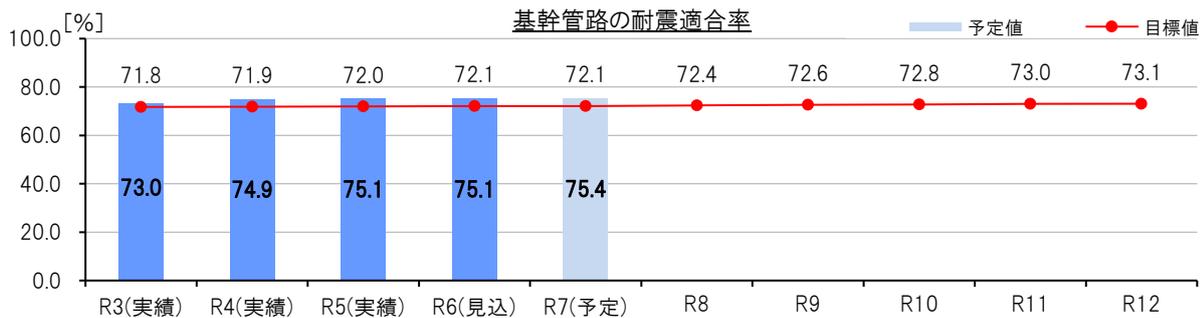
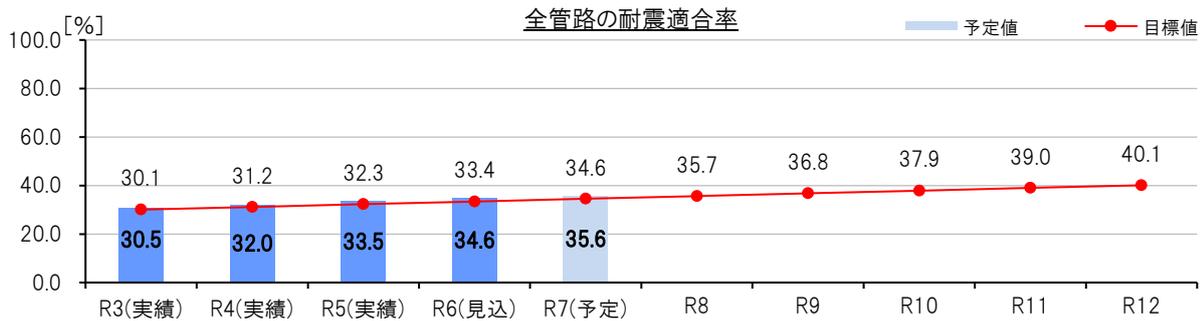
- ・重要給水施設管路の耐震化 … 2億8,346万円

(二村山沓掛小線配水管布設替工事その3 始め4件 L=1,290m)

### 第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路の更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。  
 ※目標値は、水道料金改定による見直しを反映しています。



※管路耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K型継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。  
 ※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

## II 水道施設のレベルアップ

### (主な事業)

1. 水道水を継続的に供給していくため、水道施設を適切に維持管理し、老朽化した施設を計画的に更新します。

- ・ 遠方監視システムの適正管理 …… 5,984万円  
(計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他)

2. 水道事故を未然に防止するため、管路を適切に維持管理します。

- ・ 漏水調査 …… 4,882万円 (漏水調査業務委託他)
- ・ 仕切弁等点検 …… 1,491万円 (管路施設点検業務委託)
- ・ 管洗浄等の実施 …… 2,605万円 (水管橋塗装工事、ストレーナー設置工事他)

3. 区画整理事業や公共工事と同調し、効率的に配水管を整備します。

- ・ 区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 3億1,582万円  
〔 豊明間米南部土地区画整理内配水管布設工事その1 始め7件、  
区画整理事業に伴う設計委託1件 〕
- ・ 公共工事と同調した配水管整備 …… 3億2,057万円  
〔 日進市本郷町西原他地内配水管布設替工事その1 始め12件  
道路改良事業に伴う設計委託1件 〕

## III 危機管理対策の推進

### (主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備します。

- ・ 災害用資機材の確保 …… 533万円  
(MCA無線リース料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料、簡易型仮設給水槽他)

## 計画3 「持続」 いつも信頼できる水道システム

### I 水道水の安定供給

#### (主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行います。  
また、老朽化や水質状況を考慮し、自己水源の適切な維持管理を行います。

- ・ 県営水道からの受水 …… 24億5,546万円  
(承認基本給水量 102,500m<sup>3</sup>/日、年間予定受水量 34,027,000m<sup>3</sup>)
- ・ 自己水源の合理化 …… 2,287万円  
(水源濾材活性化工事、水源井戸清掃工事他)

## II お客様との連携の促進

### (主な事業)

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、サービスのさらなる向上を図ります。
  - ・ 配水補助管助成金制度の継続 …… 2,713万円 (配水補助管助成金)
2. 将来を担う子どもたちを対象として、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行います。
  - ・ 水道学習の実施 …… 34万円 (小学生を対象とした水道学習用パンフレット)
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する情報を分かりやすく提供します。
  - ・ 広報広聴活動 …… 370万円  
(広報誌「ふれっしゅ水道」(年間2回発行、予定部数282,600部)作成委託他)

## III 持続可能な水環境づくり

### (主な事業)

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続します。
  - ・ 太陽光発電設備、電気自動車の活用
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに、ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備を継続します。
  - ・ 「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 3,782万円
  - ・ 水源地域との交流事業 …… 100万円  
( ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備活動の実施、  
水源地環境整備促進事業助成金他 )

## IV 健全かつ安定した事業運営

### (主な事業)

1. 自己財源の負担軽減を図るため、各種補助金制度を活用して財源の確保に努めます。
  - ・ 補助金制度の活用 …… 4,917万円 (防災・安全交付金)
2. 事業実施に必要な財源を確保し健全経営を継続するため、企業債の適正な借入に努めます。
  - ・ 企業債の適正借入 …… 2億8,000万円 (利率が4.0%以内の公的資金を借入れ)

## V 人材育成・組織力の強化

### (主な事業)

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、研修内容を改善し充実させます。
  - ・ 職員教育の充実 …… 250万円 (内部・外部研修の実施)

### 3 事業計画

#### (1) 業務の予定量

区 分	単位	令和7年度 予定 A	令和6年度		増減 C (A-B)	増減率(%) (C/B)
			当初予定 B	見 込		
給 水 戸 数	戸	142,600	140,800	142,200	1,800	1.3%
給 水 人 口	人	328,360	328,300	328,060	60	0.0%
総 給 水 量	千m <sup>3</sup>	34,482	34,406	34,673	76	0.2%
(うち県営水道受水量)	千m <sup>3</sup>	34,027	33,904	34,170	123	0.4%
有 収 水 量	千m <sup>3</sup>	32,655	32,583	32,835	72	0.2%
有 収 率	%	94.7	94.7	94.7	0.0	0.0%
1 日 平 均 給 水 量	m <sup>3</sup>	94,471	94,005	94,735	466	0.5%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	リットル	287.7	286.3	288.8	1.4	0.5%
1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	リットル	272.5	271.2	273.5	1.3	0.5%
職 員 数	人	98	99	99	△ 1	△ 1.0%

#### (2) 建設改良事業の概要

科 目	予算額	主な事業
配 水 設 備 改 良 費	3,946,733千円	第2次水道施設整備事業 土地区画整理等受託事業
固 定 資 産 購 入 費	232,580千円	水道料金調定収納管理システム等更新

### 4 収益的収入及び支出

水道事業収益8,451,206千円に対して、水道事業費用は6,867,319千円で差引き1,583,887千円が税込み当年度純利益となります。なお、消費税及び地方消費税を整理すると1,341,344千円の税抜き当年度純利益となります。

### 5 資本的収入及び支出

資本的収入1,120,488千円に対して、資本的支出は4,356,698千円となり、差引き不足額3,236,210千円は、減債積立金9,000千円、建設改良積立金166,528千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額237,723千円、過年度分損益勘定留保資金1,176,419千円、当年度分損益勘定留保資金1,646,540千円で補てんする予定です。

### 6 債務負担行為

事 項		期 間	限度額
老朽管路更新工事	豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町地内	令和8年度	440,693千円
水道料金調定収納管理システム等更新		令和8年度	154,194千円
営業業務委託		令和8年度 から 令和12年度 まで	1,170,774千円
給水受付事務業務委託		令和8年度 から 令和12年度 まで	265,617千円

### 7 企業債

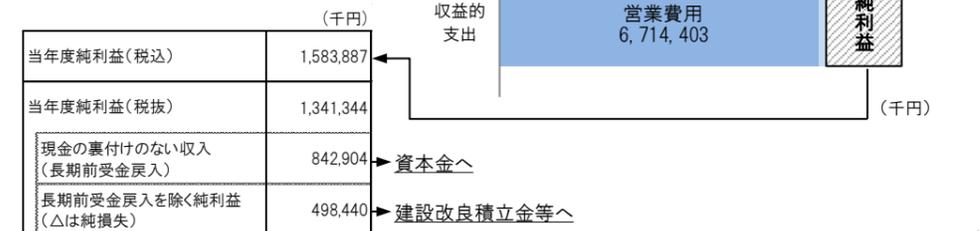
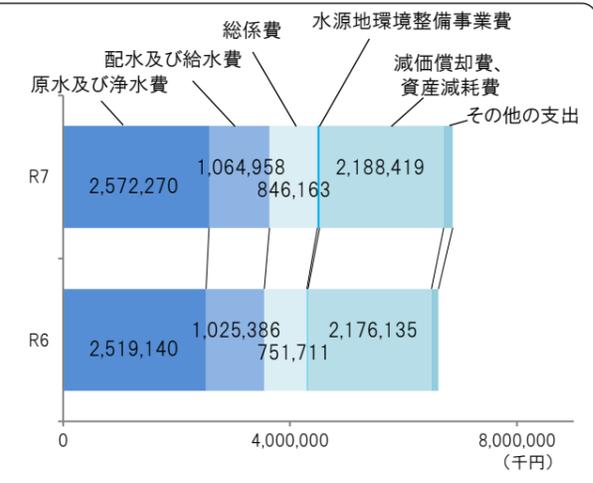
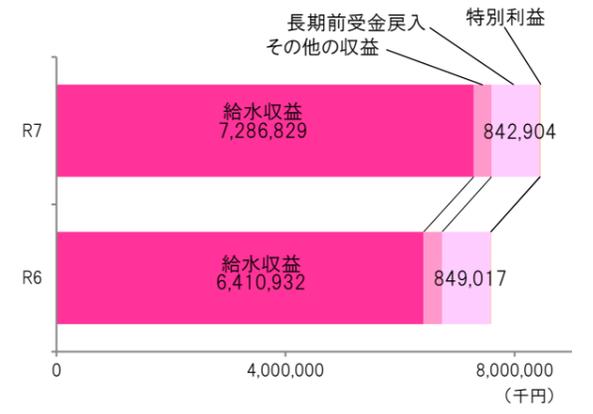
配水設備改良事業の財源として、限度額を280,000千円と定め、利率が4.0%以内の公的資金を借り入れる予定です。

8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表

(1) 収益的収支 ※収益的収支（損益勘定）とは、1年間で水道水を供給して得る収入と供給に要する費用（支出）の内訳を表すものです。 [予算書P6～P7]

(単位:千円)

収入科目	令和7年度 予定額	令和6年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
<b>営業収益</b>	7,554,632	6,685,195	869,437	13.0%		<p>《収益的収入》</p> <p>①営業収益のうち給水収益は、令和7年6月の水道料金改定により、前年度と比べて875,897千円(13.7%)の増加となります。</p> <p>②営業外収益のうち長期前受金戻入は、長期前受金を財源として取得した構築物の除却の減少により、前年度と比べて6,113千円(△0.7%)の減少となります。</p> <p>③特別利益のうちその他特別利益は、退職給付引当金戻入益の増加により、前年度と比べて7,566千円(303.4%)の増加となります。</p>
給水収益	7,286,829	6,410,932	875,897	13.7%	水道料金及び水道水源環境保全基金収入	
受託工事収益	803	803	0	0.0%		
その他営業収益	238,546	236,230	2,316	1.0%	給水工事に伴う設計事務費、下水道徴収事務負担金他	
他会計負担金	28,454	37,230	△ 8,776	△ 23.6%	消火栓等維持管理負担金他	
<b>営業外収益</b>	886,514	896,967	△ 10,453	△ 1.2%		
受取利息	3,241	3,244	△ 3	△ 0.1%	有価証券利息他	
長期前受金戻入	842,904	849,017	△ 6,113	△ 0.7%	減価償却費等に対応する長期前受金の収益化	
雑収益	40,369	44,706	△ 4,337	△ 9.7%	行政財産目的外使用料他	
<b>特別利益</b>	10,060	2,494	7,566	303.4%		
その他特別利益	10,060	2,494	7,566	303.4%	退職給付引当金戻入益	
<b>水道事業収益計(A)</b>	<b>8,451,206</b>	<b>7,584,656</b>	<b>866,550</b>	<b>11.4%</b>		<p>《収益的支出》</p> <p>④原水及び浄水費は、受水費の増加等により、前年度と比べて53,130千円(2.1%)の増加となります。</p> <p>⑤配水及び給水費は、給水受付事務業務委託に伴う委託料の増加等により、前年度と比べて39,572千円(3.9%)の増加となります。</p> <p>⑥総係費は、庁舎改修工事に伴う修繕費の増加等により、前年度と比べて94,452千円(12.6%)の増加となります。</p> <p>⑦資産減耗費は、水道施設撤去工事に伴う除却費の減少により、前年度と比べて45,795千円(△39.6%)の減少となります。</p>
<b>支出科目</b>	<b>令和7年度 予定額</b>	<b>令和6年度 予定額</b>	<b>増減(△減)</b>	<b>増減率(%)</b>	<b>備考</b>	
<b>営業費用</b>	6,714,403	6,496,308	218,095	3.4%		
原水及び浄水費	2,572,270	2,519,140	53,130	2.1%	県営水道受水費他	
配水及び給水費	1,064,958	1,025,386	39,572	3.9%	配水施設等維持修繕費他	
受託工事費	803	803	0	0.0%		
総係費	846,163	751,711	94,452	12.6%	検針・収納等営業業務委託料他	
議会及び監査費	2,971	2,362	609	25.8%		
水源地環境整備事業費	38,819	20,771	18,048	86.9%	水源地環境整備事業助成金他	
減価償却費	2,118,504	2,060,425	58,079	2.8%	有形固定資産構築物他	
資産減耗費	69,915	115,710	△ 45,795	△ 39.6%	用途廃止資産の除却費及び施設撤去費他	
<b>営業外費用</b>	152,891	119,574	33,317	27.9%		
支払利息及び企業債取扱諸費	44,015	37,671	6,344	16.8%		
雑支出	5,080	5,080	0	0.0%	過年度分水道料金減免他	
消費税及び地方消費税	103,796	76,823	26,973	35.1%		
<b>特別損失</b>	25	36	△ 11	△ 30.6%		
過年度損益修正損	25	36	△ 11	△ 30.6%	貸倒損失(破産更生債権分)	
<b>水道事業費用計(B)</b>	<b>6,867,319</b>	<b>6,615,918</b>	<b>251,401</b>	<b>3.8%</b>		
<b>当年度純利益(A-B)</b>	<b>1,583,887</b>	<b>968,738</b>	<b>615,149</b>	<b>63.5%</b>		<p>《当年度純利益》</p> <p>⑧税込の当年度純利益は、1,583,887千円となり、前年度と比べて615,149千円(63.5%)の増加となります。また、消費税分を整理した税抜の当年度純利益は1,341,344千円となり、現金の裏付けのない収入である長期前受金戻入を除いた純利益は498,440千円となります。</p>

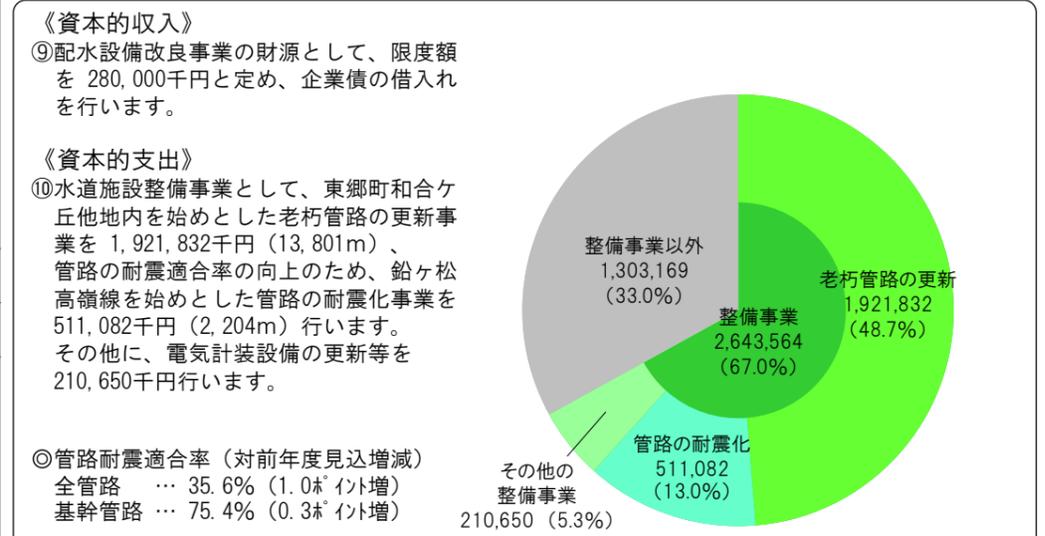


(2) 資本的収支

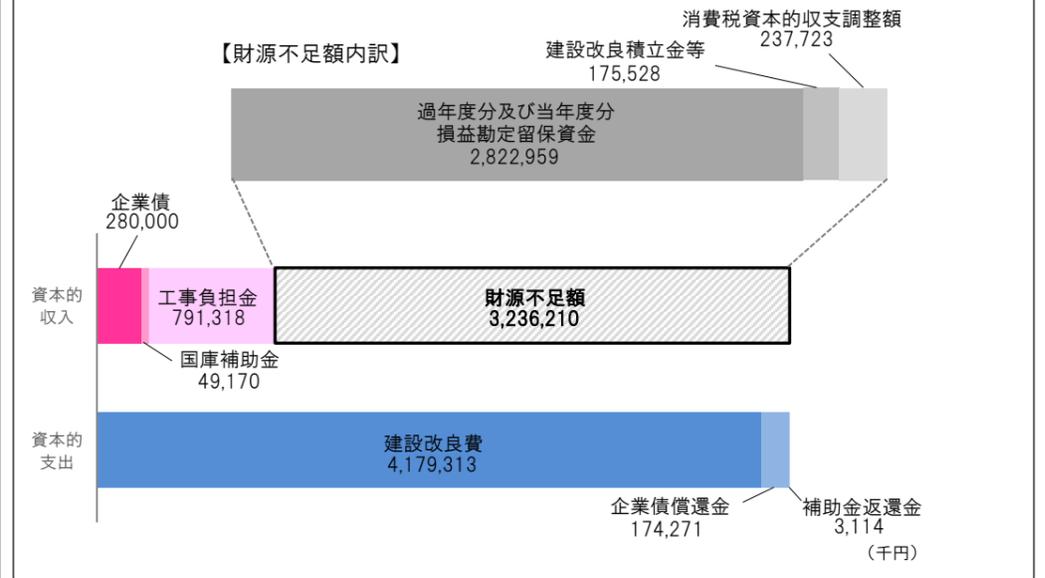
※資本的収支（資本勘定）とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費（支出）と、その財源（収入）の内訳を表すものです。 [予算書P8～P9]

(単位:千円)

収入科目	令和7年度 予定額	令和6年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
企業債	280,000	500,000	△ 220,000	△ 44.0%	配水設備改良事業の財源として借入れ
国庫補助金	49,170	0	49,170	皆増	水道総合地震対策事業に対する国庫補助金
県補助金	0	41,690	△ 41,690	皆減	重要給水施設管路耐震化事業に対する県補助金
工事負担金	791,318	1,065,642	△ 274,324	△ 25.7%	土地区画整理等受託事業に伴う負担金他
固定資産売却代金	0	308	△ 308	皆減	公用車処分に伴う帳簿原価
<b>資本的収入計 (C)</b>	<b>1,120,488</b>	<b>1,607,640</b>	<b>△ 487,152</b>	<b>△ 30.3%</b>	
支出科目	令和7年度 予定額	令和6年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
建設改良費	4,179,313	4,030,257	149,056	3.7%	
配水設備改良費	3,946,733	3,948,227	△ 1,494	△ 0.0%	水道施設整備事業、土地区画整理等受託事業他
固定資産購入費	232,580	82,030	150,550	183.5%	水道料金調定収納管理システム等更新他
企業債償還金	174,271	191,548	△ 17,277	△ 9.0%	
補助金返還金	3,114	3,661	△ 547	△ 14.9%	令和6年度県補助金に含まれる消費税相当額の返還分
<b>資本的支出計 (D)</b>	<b>4,356,698</b>	<b>4,225,466</b>	<b>131,232</b>	<b>3.1%</b>	
差引額 (C-D)	△ 3,236,210	△ 2,617,826	618,384	23.6%	△の場合は収入が不足



《資本的収支 財源不足額》  
①資本的収入額1,120,488千円に対して、資本的支出額は4,356,698千円となり、3,236,210千円の財源不足額が発生します。  
②財源不足額については、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金と前年度以前の純利益を利益処分し、積み立てられた建設改良積立金等で補てんします。



※令和7年度資金繰越額 (単位:千円)

収益的収入 (A)	8,451,206
収益的支出 (B)	6,867,319
うち現金を伴わない支出 (減価償却費、資産減耗費等)	2,180,190
純利益 (A-B)	1,583,887
うち長期前受金戻入を除いた利益	498,440
資本的収入 (C)	1,120,488
資本的支出 (D)	4,356,698
収支不足額 (C-D)	△ 3,236,210
前年度資金繰越額 ①	1,351,947
当年度資金発生額 ②	2,916,353
当年度純利益(△は純損失)	498,440
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	237,723
当年度分損益勘定留保資金	2,180,190
財源充当額 ③	3,236,210
翌年度資金繰越額 (① + ② - ③)	1,032,090

